



FOR IMMEDIATE RELEASE

平成 23 年 10 月 4 日

報道機関各位

新たな LNG 価格指標の提供について

弊社—Argus Media Ltd (本社英国)—は 2011 年 10 月 3 日から、国際 LNG 市場における新たな価格指標の提供を開始いたしましたのでお知らせいたします。

弊社はこのほど、LNG のスポット取引動態について緻密な調査を実施し、新たな価格アセスメント・メソドロジー（方法論）を構築いたしました。新たな価格指標はその方法論に基づいて査定・発表されるものです。北東アジア（日本/韓国/台湾）持ち届け価格、中国持ち届け価格、インド持ち届け価格、豪州積み価格、中東積みアジア向け価格、中東積み欧州向け価格の合計 6 指標の提供を同時に開始いたします。これらの価格指標は、査定根拠の解説および関連情報と併せて「Argus LNG Daily」と題された情報サービスのなかで公表いたします。

Argus が 10 月 3 日に開始する新たな LNG 価格指標

Northeast Asia des (Japan/South Korea/Taiwan)	北東アジア持ち届け価格
China des	中国持ち届け価格
India des	インド持ち届け価格
Australia fob	豪州積み価格
Middle East fob (Asia-Pacific bound)	中東積みアジア向け価格
Middle East Fob (Europe bound)	中東積み欧州向け価格

世界全体における LNG の消費量は、アジア太平洋地域における需要増加を主要因として、2017 年までに現在の年間 2 億 2,000 万トン規模から 4 億 5,000 万トン規模に増加することが予想されています。アジア太平洋地域においては、日本、韓国および台湾が主要な LNG 輸入国であることに変わりはないものの、中国、インドおよびタイが新たな輸入国として台頭しているほか、マレーシア、シンガポールならびにベトナムによる輸入も近く開始される見通しです。

一方、欧州においても LNG 輸入量が顕著に増加しており、そのほとんどはアジア太平洋市

場の主な調達元である中東地域となります。このため、これまでは比較的独立性の強かったアジア太平洋市場の LNG 市場は今後、欧州市場の動向による影響をより強く受けることになるのはほぼ間違いない状況です。その欧州には域内およびロシアからパイプラインで供給される天然ガス市場がすでに形成されており、同地域の LNG 輸入価格はこのパイプライン価格の影響を受けます。

このように、市場の国際化および価格決定メカニズムの変化が本格化するなか、売買双方にとって、複数の価格指標で世界全体の短期的な需給動向を読み計ることの重要性が高まっていることは明らかです。弊社では今回の新指標の提供開始を皮切りに、LNG の価格指標および市場情報に対する市場のニーズに応じていく所存です。

以上

Argus Media について

エネルギー価格指標の提供で世界最大の独立企業。1970 年の創立以来、エネルギー市場における商品の価格査定、需給ファンダメンタルズおよび関連政策の調査を主業務とする。英国・ロンドン本社をはじめ、シンガポール、モスクワ、ヒューストン、ワシントンに拠点を構え、また、世界主要 30 都市に合計 300 名以上のアナリストを配置して、精密な調査を行う。現在、60 種類以上のエネルギー情報サービスを通じて 2,800 を超える価格指標を国際エネルギー市場に提供している。

本件のお問い合わせ先：

Argus Media Ltd 日本支局

東京都中央区京橋 2-7-14 Burex Kyobashi #513

Tel: 03-3561-1805

www.argusmedia.jp

【担当】三田 真己 | 電話 03-3561-1805 | masaki.mita@argusmedia.com